

平成 25 年 11 月 26 日  
アンジェス MG 株式会社

### AHA 2013(米国心臓協会学術集会)において大阪大学の研究グループが 高血圧 DNA ワクチンの研究成果を発表

当社が大阪大学と連携して開発している高血圧 DNA ワクチンについて、この度、大阪大学医学部の森下竜一教授および中神啓徳寄附講座教授らの研究グループにより、米国心臓協会(American Heart Association)の 2013 年学術集会におけるサイエンティフィックセッション(平成 25 年 11 月 16 日～19 日に開催)において、高血圧モデル動物における高血圧 DNA ワクチンの長期降圧効果に関する研究成果が発表されましたので、その内容をご報告いたします。

大阪大学の研究グループは、昇圧作用を有する生理活性物質の本体であるアンジオテンシン II に対する抗体を長期間(ラットでは 6 カ月以上)持続的に誘導する高血圧 DNA ワクチンを開発し、この DNA ワクチンを投与した高血圧モデル動物(ラット)において、抗アンジオテンシン II 抗体の作用に基づく、血圧の有意な低下作用が 6 ヶ月以上持続することを見出しました。

さらに、この高血圧 DNA ワクチンの薬理効果を解析したところ、高血圧モデル動物における心血管周囲の線維化を有意に抑制させ、大動脈の中膜肥厚の抑制も確認されました。このことから、この高血圧 DNA ワクチンは、高血圧治療に有効であるばかりか、高血圧を起因とする心疾患への治療効果が示唆されました。

この米国心臓協会学術集会は、世界の心血管疾患の権威が最新の研究、技術を議論する循環器領域で世界最高峰の学会と言われております。学会当日は、大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 郡山 弘寄附講座助教により本研究成果が報告されました。報告の要旨はこの学術集会の下記 URL にて確認できます。

<http://www.abstractsonline.com/Plan/ViewAbstract.aspx?sKey=2805b9fc-92e8-4ec4-ba42-ce208e1004e3&cKey=5a251be8-7708-4eff-a145-36f4eab6c032&mKey=%7b951E351E-429C-4B2E-84D0-8DA73B00DE45%7d>

また、今年の学術集会では生活習慣病に対する新しい治療法としてワクチン療法がトピックスの一つとして取り上げられ、本研究成果の概要は下記の取材記事でも紹介されています。

<http://www.physiciansbriefing.com/Article.asp?AID=682250>

当社といたしましては、当該 DNA ワクチンの開発に関して、大阪大学の研究グループと

連携し、実用化を目指して参ります。

以上

お問い合わせ先

アンジェス MG株式会社 経営企画部 広報グループ

TEL: 03-5730-2641